



捕獲鳥獣のジビエ利用を巡る最近の状況 (令和6年4月)

農村振興局 農村政策部 鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室



MAFF
農林水産省

目次

農作物被害状況・捕獲頭数について (P.1~2)

- 野生鳥獣による農作物被害額の推移 (P.1)
- シカ・イノシシの捕獲頭数の推移 (P.2)

ジビエについて (P.3~9)

- なぜ今、ジビエ振興なのか (P.3)
- 捕獲から消費までの主な流れ (P.4)
- ジビエの流通構造 (P.5)
- ジビエ処理加工施設の数・分布等 (P.6)
- 捕獲された有害鳥獣のジビエ利用の実態 (P.7)
- ジビエの利用拡大に向けた各段階の取組ポイント (P.8)
- ジビエ利用拡大に向けた取組 (P.9)

鳥獣被害防止対策交付金について (P.10~11)

- 鳥獣被害防止総合対策交付金の支援内容 (P.10)
- 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進
(令和6年度) (P.11)

ジビエ利用拡大に向けた主な取組み (P.12~32)

- ジビエ利用拡大に向けた主な取組 (P.12)
- ジビエ利活用事例地区一覧
(ジビエ処理施設の取組) (P.13~18)
- ジビエの供給拡大に向けた取組
(捕獲個体の搬入促進) (P.19)
- 野生鳥獣肉の衛生管理 (P.20)
- ジビエハンター育成研修制度 (P.21)
- 国産ジビエ認証制度 (P.22~25)
- 豚熱感染確認区域におけるジビエ利用の推進 (P.26)
- 野生鳥獣肉の出荷制限等の状況 (P.27)
- 全国ジビエプロモーション事業の概要 (P.28)
- ジビエ料理レシピの開発・紹介 (P.29)
- ペットフード向け利用の拡大 (P.30)
- 捕獲鳥獣の皮、骨、角等の有効利用の取組 (P.31)
- ジビエに関する相談 (P.32)

HP (ジビエ利用拡大コーナー) はこちら

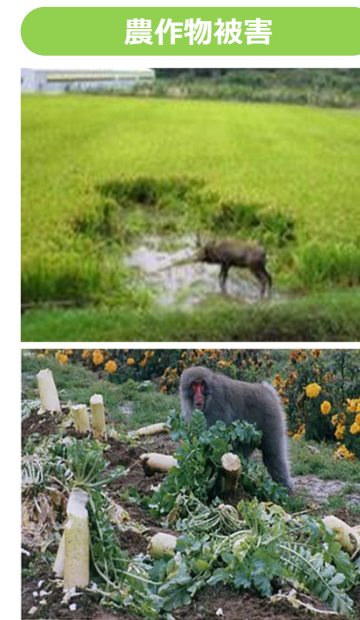
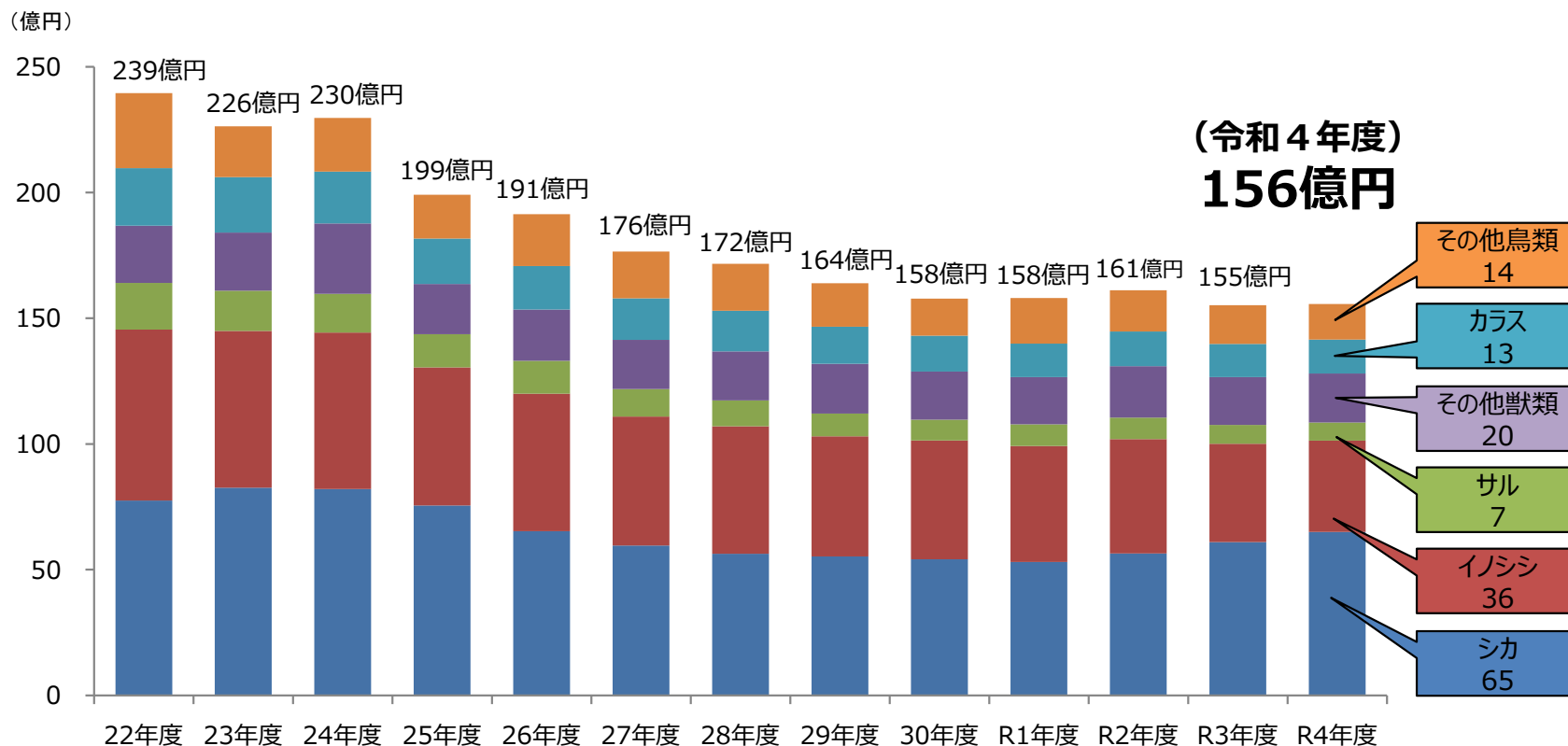
URL : <https://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/index.html>



野生鳥獣による農作物被害額の推移

- 野生鳥獣による農作物被害額は156億円（令和4年度）。全体の約7割がシカ、イノシシ、サル。
- 森林の被害面積は全国で年間約5千ha（令和4年度）で、このうちシカによる被害が約7割を占める。
- 水産被害としては、河川・湖沼ではカワウによるアユ等の捕食、海面ではトドによる漁具の破損等が深刻。
- 鳥獣被害は営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加、さらには森林の下層植生の消失等による土壌流出、希少植物の食害等の被害ももたらしており、被害額として数字に表れる以上に農山漁村に深刻な影響を及ぼしている。

農作物被害額の推移



※ラウンドの関係で合計が一致しない場合がある

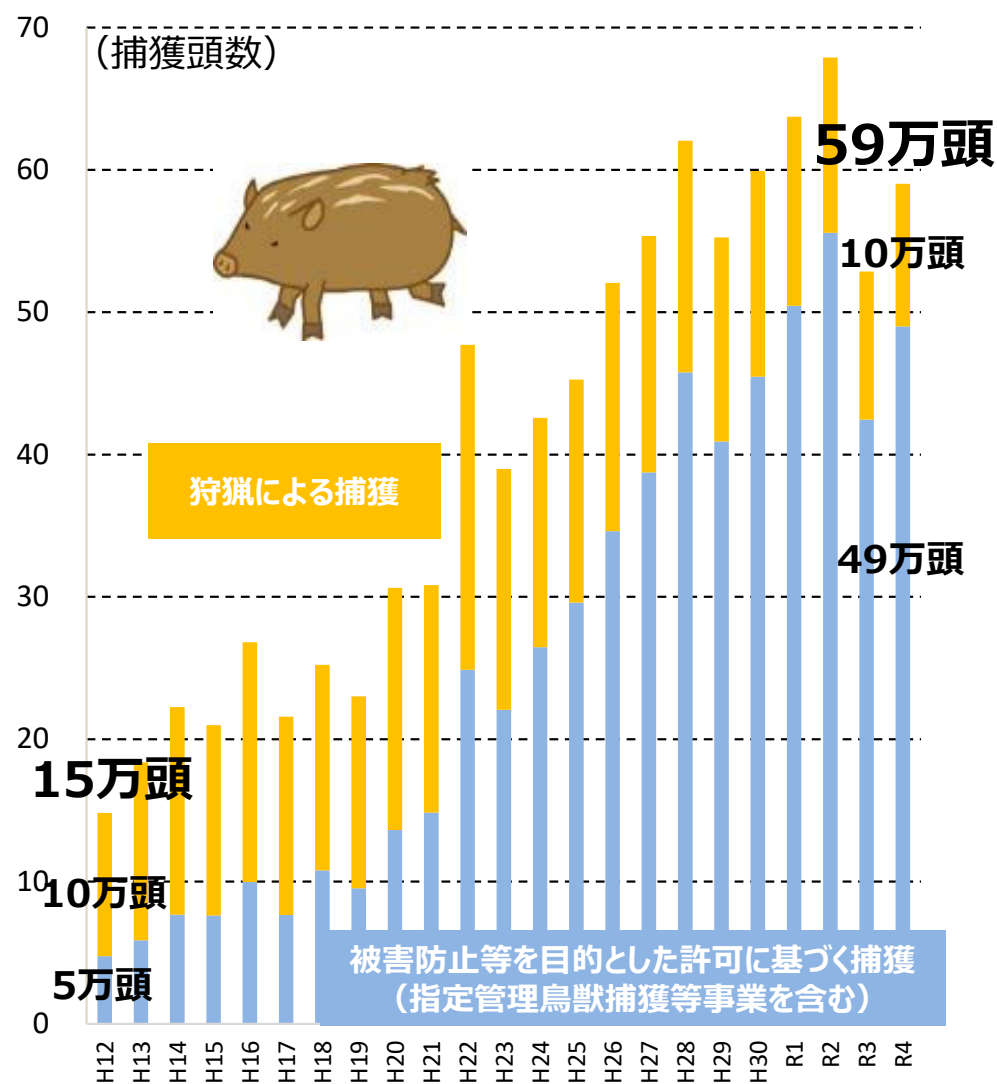
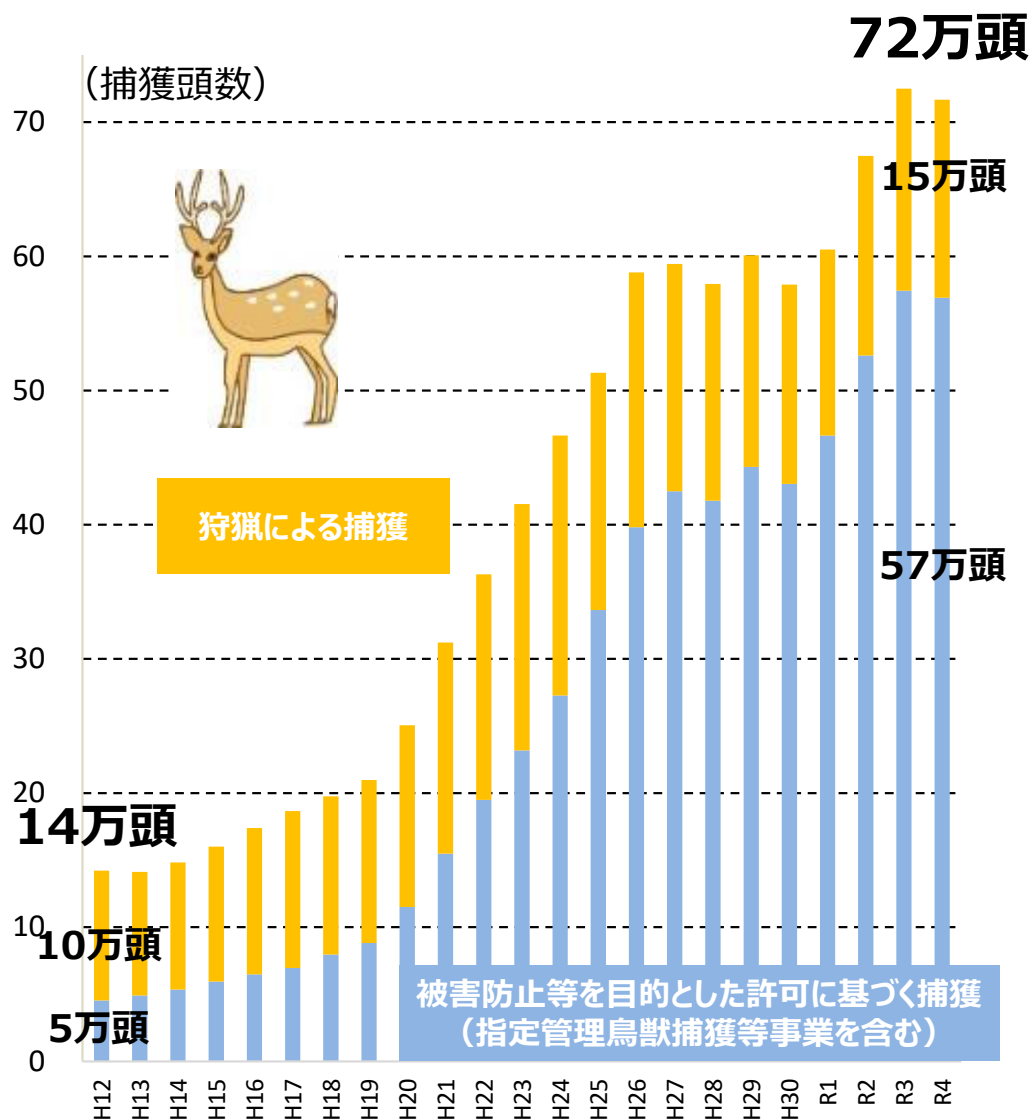
【出典】「全国の野生鳥獣による農作物被害状況について」（農林水産省）

シカ・イノシシの捕獲頭数の推移

○ 近年では、被害防止等を目的とする捕獲が中心に行われ、シカ及びイノシシの捕獲頭数が大幅に増加。

○ シカの捕獲頭数推移

○ イノシシの捕獲頭数推移



【出典】「鳥獣関係統計」および「ニホンジカ・イノシシ捕獲頭数速報値（令和4年度）」（環境省）に基づき鳥獣対策室で作成
 ※令和元(2019)年度以前は「鳥獣関係統計」参照。令和2(2020)年度以降は「ニホンジカ・イノシシ捕獲頭数速報値（令和4年度）」の数値